

## CONTAINER

Publication Number: JP-SHO-61-202316  
Publication date: 1986-12-19  
Inventor(s): JIN KARASHIMA  
Applicant(s): JIN KARASHIMA  
Application Number: JP UM Application Sho-60-86921  
IPC Classification: B65D

---

### Claim:

A container comprising a plurality of tubular pieces respectively sized and arranged so that the container decreases its diameter in a stepwise manner as it advances downwards, annular horizontal pieces each formed on an inner surface of each of said plurality of tubular pieces closer to a lower end of each of said plurality of tubular pieces, said annular horizontal pieces each having an inner circumferential edge, upper ends of said plurality of tubular pieces extending upward over the lower end of an adjacent one of said plurality of tubular pieces, said annular horizontal pieces being respectively connected through its inner circumferential edge to each of the upper ends, and ribs integrally each formed on the container so as to extend over the lower surface of each of the annular horizontal pieces, the inner surface and outer surfaces of the adjacent ones of said plurality of tubular pieces connected together by a corresponding one of said annular horizontal pieces.

### Brief Description of the Drawings

Fig. 1 is a front view of a container according to one embodiment of this invention with a half on the right hand side in vertical section. Figs. 2 and 3 are respectively an enlarged front view and an enlarged bottom plan view of reinforcing parts. Fig. 4 is a front view of a conventional container with a half on the right hand side in vertical section.

(1)---tubular pieces,           (2)---annular horizontal pieces       (3)---ribs

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-202316

⑮ Int. Cl. \*

B 65 D 1/42

識別記号

庁内整理番号

6727-3E

⑯ 公開 昭和61年(1986)12月19日

審査請求 有 (全 頁)

⑰ 考案の名称 容 器

⑱ 実 願 昭60-86921

⑲ 出 願 昭60(1985)6月11日

⑳ 考 案 者 辛 島 仁 海老名市中野88番地の5

㉑ 出 願 人 辛 島 仁 海老名市中野88番地の5

㉒ 代 理 人 弁理士 岡本 重文 外2名

## 明 細 書

### 1. [ 考案の名称 ]

#### 容 器

### 2. [ 実用新案登録請求の範囲 ]

深さ方向に区分された径の漸減する複状の筒状片よりなり、前記各筒状片の下端縁近傍内周壁面に連設された環状水平片の内周縁に前記筒状片の下方に隣る筒状片の上端縁を接続するとともに、前記環状水平片の下面と、同水平片に接続する前記上下各筒状片の内周壁面及び外周壁面とに亘つてリブを一体に取付けてなることを特徴とする容器。

### 3. [ 考案の詳細な説明 ]

#### ( 産業上の利用分野 )

本考案はスーパーマーケット、商店等における、水等の液体、米、メリケン粉等の粉体、粒体の搬送用合成樹脂製容器に係るものである。

#### ( 従来技術 )

前記容器の周壁は容器内の流体、粉粒体の圧力によつて外側に膨出しようとしてフープテンショ

(1)

ンが作用する。このため容器の周壁を補強具つ補剛する必要がある。

第4図は従来 of この種の容器を示し、容器の周壁(a)にその深さ方向に亘つて所定間隔毎に補強用段部(b)が設けられている。

(考案が解決しようとする問題点)

しかしながら前記従来の容器においては、段部(b)が浅いと補強、補剛効果が不足し、また段部を深くすると内容積が低減するという問題点がある。

(問題点を解決するための手段)

本考案はこのような問題点を解決するために提案されたものであつて、深さ方向に区分された径の漸減する複状の筒状片よりなり、前記各筒状片の下端縁近傍内周壁面に連設された環状水平片の内周縁に前記筒状片の下方に隣る筒状片の上端縁を接続するとともに、前記環状水平片の下面と、同水平片に接続する前記上下各筒状片の内周壁面及び外周壁面とに亘つてリブを一体に取付けてなることを特徴とする容器に係るものである。

(作用)

(2)

本考案に係る容器においては前記したように、前記各筒状片の下端縁近傍内周壁面に同面と一体に環状水平片を接続し、同水平片の内周縁に前記筒状片の下方に隣る筒状片の上端縁を一体に接続することによつて上下両筒状片間に二重壁を構成し、同二重壁内において上位の筒状片の内周壁面及び下位の筒状片の外周壁面と、前記環状水平片の下面との間に亘つてリブを一体的に取付けたので、同リブを有する前記二重壁部によつて容器が十分に補強、且つ補剛されるものである。

また前記リブ付き二重壁部は強度、剛性が極めて大きいので、前記環状水平片は径方向の寸法が短かいものであつても十分に補強、補剛効果が発揮され、容器の容量を殆んど低減することはない。

#### ( 考案の効果 )

このように本考案によれば容器の容量を低減させることなく、同容器を十分に補強且つ補剛するものである。

#### ( 実施例 )

(A)は水等の流体、米またはメリケン粉等の粒体

(3)

若しくは粉体を容れる合成樹脂製の容器で、必要に応じてその底部に移動用車輪が装架される。

前記容器(A)は深さ方向に亘つて径が漸減するよう  
に区分された複数の筒状片(1)より構成され、各  
筒状片(1)の下端近傍における内壁面より一体に水  
平環状片(2)が延設され、同水平環状片(2)には下位  
の筒状片(1)の上端縁が一体に接続し、上下に隣る  
筒状片(1)間に二重壁が構成されている。

更に同二重壁内において水平環状片(2)の下面と、  
同環状片(2)に隣る上下各筒状片(1)の内周壁面及び  
外周壁面との間に周方向に所定間隔毎にリブ(3)が  
一体に取付けられている。

図示の実施例によれば前記したように、容器を  
構成する前記各筒状片(1)の下端縁近傍の内壁面に  
同面と一体に環状水平片(2)が接続され、同水平片  
(2)の内周縁に前記筒状片(1)の下方に隣る筒状片(1)  
の上端縁を一体に接続することによつて上下に隣  
る筒状片(1)間に環状の二重壁を構成し、同二重  
壁内における前記環状水平片(2)の下面と、同水平  
片(2)に接続する上位の筒状片(1)の内壁面と下位の

(4)

筒状片(1)の外壁面との間にリブ(3)が一体に取付けられているので、同リブ(3)を有する前記二重壁によつて容器が十分に補強且つ補剛されるものである。また同二重壁部は強度、剛性が極めて大で、環状水平片(2)は径方向の寸法が短かくても、十分に容器の補強、補剛効果が発揮され、容器の容量に影響を与えることが少ない。

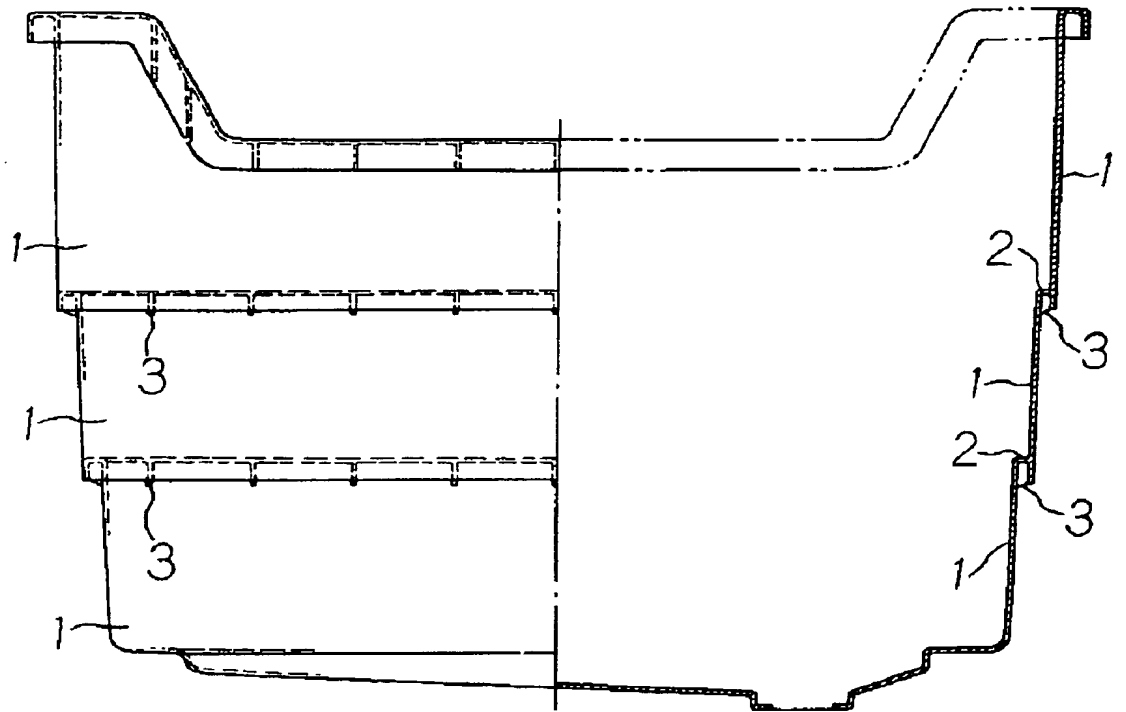
#### 4.〔図面の簡単な説明〕

第1図は本考案に係る容器の一実施例を示す右半部縦断正面図、第2図及び第3図は夫々その補強、補剛部の拡大正面図並に拡大底面図、第4図は従来の容器の右半部縦断正面図である。

(1)…筒状片、(2)…環状水平片、(3)…リブ

代理人 弁理士 岡 本 重 文  
外2名

第1図



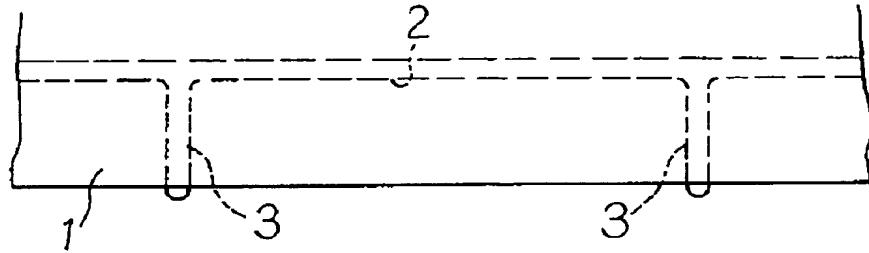
182

昭和61-20231

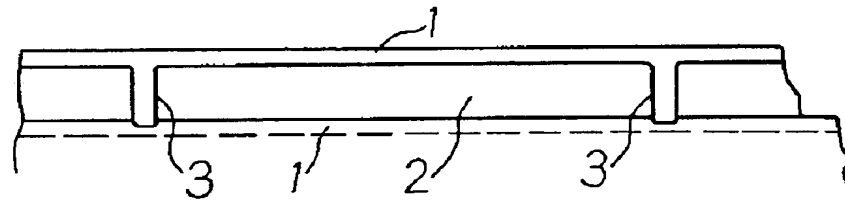
代理人 井堀士 岡本重文 外2名



第2図



第3図

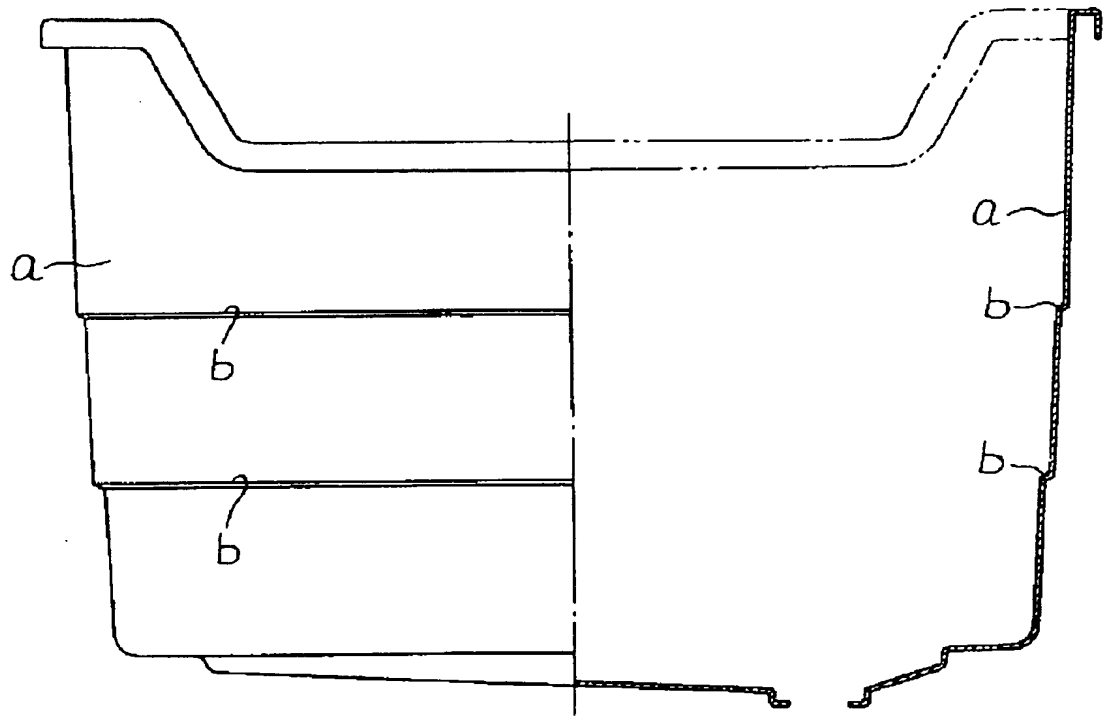


1834

実器 202316

代理人 弁理士 岡本重文 外2名

第4図



184

202316

代理人 弁達士 岡本重文 外2名